

キャラクター名 プレイヤー名

種族	ハイマン	種族特徴	デジャヴ、魔法の申し子		
生まれ	学者	性別	男	年齢	15
冒険者Lv	15	経歴	「長い船旅をしたことがある」		
経験点	3560		「大きな勘違いをしている(いた)」 「性別を間違われている期間があった」		

	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	7	器用度	9	16	32	5
		敏捷度	6	14	27	4
体	5	筋力	6	9	20	3
		生命力	5	24	34	5
心	15	知力	5	57	77 + 2	13
		精神力	4	32	51	8

技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.
ソーサラー	15	セージ	15				
コンジャラー	15	エンハンサー	5				
プリースト/ル=ロウド	2	バード	1				
フェアリーティマー	2	デーモンルーラー	1				
マジテック	2	ウォーリーダー	1				
スカウト	1						
レンジャー	9						

戦闘特技			
ルーンマスター	IB34p		p
治癒適正	2122p		p
不屈	2123p		p
ポーションマスター	2123p		p
鋭い目	2120p		p
弱点看破	2121p		p
マナセーブ	2123p		p
マナ耐性	3144p		p
賢人の知恵	3142p		p
魔法誘導	IB32p		p
魔法収束	IB39p		p
魔法制御	IB32p		p
魔法拡大/数	IB39p		p
魔法拡大/距離	IB39p		p
魔力強化	IB32p		p
武器習熟A/スタッフ	IB31p		p
ダブルキャスト	IB37p		p
	p		p

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク 筋力 回避力 防護点		
鎧	マナコート		1	13
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能		合計値	0	13

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マナスタッフ 魔力+1、魔法の武器	2H	3	1	2d+ 1	12	1	13										
ソーサラースタッフ 行使判定+2、魔法の武器(ウェポンマスターII)	2H	10	1	2d+ 1	12	1	20										
アイオーン 魔力+2、手番終了時MP-2(ウェポンマスターIIx2)	2H	8	1	2d+ 1	12	1	38										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	27 m	81 m

回避	防護点
2d+ 0	13

HP
81

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
真語魔法	15	33	魔動機術	2	20
操霊魔法	15	33	召異魔法	1	19
深智魔法	15	33			
神聖魔法	2	20			
妖精魔法	2	20			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 29	2d+ 14

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 20	2d+ 23

MP
164

装備品	説明
頭 とんがり帽子	魔物知識判定+1
耳 浄化の聖印	別大陸によるMP上昇なし
顔 赤のメガネ	眠らなくなる
首 奇跡の首飾り	生死判定をやり直せる
背中 英雄のマント	プレス攻撃-2
右手 叡智の腕輪	
腰 不撓のバックル	ガンを精神抵抗で耐える
足 軽業のブーツ	転倒しなくなる
その他 知性の指輪	

装備品	説明
ウェポンホルダー	武器や盾を補助でしまえる
左手 光魔の印	ティールカンダル古代光魔党が使用可能

その他メモ	自動失敗 チェック
緑の瞳のハイマン。彼は、幼少のころから中性の顔つきで、女性に間違われていた。それは今でもたびたび起こる。プロセルシア地方の出身。学院において小さなころから魔法と賢者の才能を発揮する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑤
ある日、フェイダグン地方に、ルシエロイネ魔導術があることを知り、フェイダグンへ行くべく船旅にでる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑩
が、実はその船はザルツ行きであり、フェイダグンへついたらとばかり思い込んでいた。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑮
そして、ティールカンダル古代光魔党へ入門し、初めてここでザルツとわかったが、この流派がルシエロイネと似ていることからそのまま奥義を覚えることとなる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑳
後に、フェイダグンにも行ってルシエロイネも見てみたが、ほとんどティールカンダルと変わらないのを見て、入門はしなかった。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉑
彼の称号は「エメルティ(緑の星石)の知者」と呼ばれる。その緑の瞳がエメラルドに譬えられた。世間の人は若くして賢者になったことをたたえ、賢者と呼ば	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉒
うとするが、自分はまだ若輩であり、賢者には早いということで、賢者ではなく、知者を名乗ることとなる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉓
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉔
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉕

